

市民の皆さんと力をあわせ建設的立場で取り組みます

「事業仕分け」の問題について



高野洋一議員

松尾市長が提案した新年度予算には「事業仕分け」の費用として、委託費などに約四百万円が計上されています。新年度の重点事業の一つです。

様々な市の事業の見直しにあたっては、市民・議会・行政などの幅広い参加で、時間が経ちながらも、民主的に十分な議論を行い、合意形成をはかって行うべきです。それが自治体運営の基本であると思います。

小田原市が昨年実施した「事業仕分け」の結果では、対象八十事業中二十四事業が「不要」と判断されましたが、そのなかには市の奨学金事業等市民生活に欠かせない事業も多く含まれました。

審議は、一事業あたりわずか三〇分と時間が短く議論が全く不十分であったこと、メンバーは「構想日本」から派遣された人など「部外者」が多数であり、やり方が乱暴であったということです。

市として行うべき事業は何か、こうした議論は多様な市民参加のなかで行うべきです。

市民サービスのあり方、党市議団では、こうした突き詰めた議論を含め、「事業仕分け」の実施にあたっては慎重に検討し対応するよう求めました。

慎重な検討が必要

新年度に実施予定の「事業仕分け」については、こうした基本的な問題を十分に踏まえつつ、仕分けの結果はあくまで参考として捉え、仕分けの結果を絶対視すべきではありません。

そうであれば、こんな事業を税金をかけて新たにやることに何の意味があるのか、という問題も生じます。

山崎浄化センターバイオマス施設は住民合意を図り、建設推進を



吉岡和江議員

市長はマニフェストで生ゴミのバイオマス施設建設の見直しを公約していましたが、二カ所の焼却施設は老朽化しており、今泉焼却施設は住民との協定により、廃止予定です。逗子市とのゴミ広域化協議が白紙に戻った今、名越焼却施設の改修を行い、ごみの焼却は鎌倉市で行う必要があります。

却ごみを減らすことは名越改修の絶対条件であること、そのためには、山崎浄化センター敷地にバイオマス施設を建設することが必要であると強く主張してきました。

バイオマスは技術的に確立した安全な施設

生ごみを中心としたバイオマス・メタン発酵施設は全国で五十カ所あり、技術的にすでに確立した安全な施設です。

さらに生ゴミと下水汚泥との混合により、下水汚泥をメタンガスにかえること

で汚泥を四〇％減少させる効果もあります。バイオマス発酵には大量の水使用と処理が必要なこと、下水と生ごみの混合施設は合理的で、さらに環境に優しい施設といえます。

新年度予算で「生活環境影響調査」などバイオマス回収施設に係る費用が計上されています。市としてバイオエネルギー回収施設を積極的に進めるよう求めました。

今後市長の責任ある判断と市民の合意を図り、バイオマスエネルギー回収施設建設及び名越焼却施設改修が進むよう取り組んでいきます。

地上デジタル放送の難視対策を



鎌倉市西御門からみた山

来年七月からテレビが地上デジタル放送に移行される予定です。鎌倉市では、約七千の難視世帯が予測され、そのうち鎌倉地域では複雑な地形から約五千世帯が難視世帯になるため対策が必要です。

そこで、放送事業者が検討した結果、鎌倉市役所屋上にアンテナを建て、逗子市披露山のアンテナから受信する方式で対応する方法を提案し、報告されました。

国が責任をもって対応すべき

全市的に今後、鎌倉地域で残る世帯と関谷・腰越・笛田地域の約七百世帯は、ケーブルテレビ加入等の対策を行い、北鎌倉地域の約一千百世帯と岩瀬地域の約二百世帯は衛星放送による暫定的な対策を行うとのことです。

「地デジ」の移行は、政府が決めた国策です。難視地域の対象世帯への十分な説明と補助制度の適用など、国として責任をもって対応するよう今後も強く求めていきます。

温水プール建設を含む坂ノ下地区海浜公園整備計画、またも見送り

坂ノ下の市営プールは昭和三十年、国体の競技場として建設されてから五十五年目を迎えました。

平成十九年の十二月議会・一般質問で赤松議員は、老朽化が進んでいる実態を示しました。同地区全体を海浜公園として整備し、そのなかに温水プールの建て替えを位置づけるよう強く要求し、当時の石渡市長も施策の推進を約束しました。

事業の先送りを一方的に決定

しかし、昨年十一月に就任した松尾市長は、財政難を理由に、事業の先送りを一方的に決めてしまったのです。

現プールは、第一小・稲村ガ崎小・御成小の子どもが授業で使っています。市の当局は、これ以上の継続使用は多額の修繕費を要するなど相当な困難があると答弁しています。

共産党市議団は、市長と積極的に議論を行うなど、早期着手にむけ今後も努力していきます。



坂ノ下市民プール

主な議案など会派別賛否	共産党 (4人)	鎌倉みらい (4人)	ネット (4人)	民主党 (3人)	公明党 (3人)	新かまくら民主の会 (2人)	鎌無会 (3人)	無所属 (5人)
平成22年度一般会計予算(修正案)	○	○	×	×	○	○	×	△
平成22年度一般会計予算(修正部分を除く原案)	○	○	×	○	○	○	○	○
平成22年度後期高齢者医療事業特別会計	×	○	○	○	○	○	○	○
鎌倉市奨学基金設置及び管理に関する条例を廃止する条例	×	×	×	○	×	×	○	△
鎌倉市携帯電話等中継基地局の設置等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
市立小坂小学校児童保育についての陳情	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対 △一部反対 □一部退席

新年度に実った主要望



たんぼぼ保育園分園

- 特別養護老人ホームの整備支援 (関谷に長期80床・短期20床のベッド)
- 国保会計への一般財源の繰り入れ増
- 七里ガ浜消防出張所の新築

- 保育園待機児童対策施設の整備 (旧深沢保育園を活用し、たんぼぼ保育所分園の運営支援)
- 子どもの家の整備 (深沢小の余裕教室活用で、遠距離にある施設の移転整備)
- 西鎌倉駅駅舎のバリアフリー化 (エレベーター設置補助等)
- 岩瀬下関青少年広場の保全にむけた取り組み (用地取得)